

公表

事業所における自己評価結果

事業所名		公表日 令和7年4月10日				
児童発達支援・放課後等デイサービスふたば						
		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点
環境・体制整備	1	利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	100%	0%	○広々と一人一人使えるスペースを設けている。	
	2	利用定員やこどもの状態等に対して、 職員の配置数は適切であるか。	100%	0%	○可能な限り個別対応を行っている。	
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	100%	0%	○療育室、静養室ははっきり分けている。 ○多目的トイレを設置している。	
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。	100%	0%	○運動療育に特化している。 ○日々の清掃を欠かさず実施している。	
	5	必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	100%	0%	○別室にすぐ行け、使用できるようにしている。 ○静養室を用意している。	
業務改善	6	業務改善を進めるためのPDCA サイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画しているか。	100%	0%	○パートも会議への参加が認められている。	
	7	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	100%	0%	○HPで公開している。	
	8	職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	100%	0%	○定期的な会議の場を設けている。	
	9	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。	67%	33%	○外部コンサルティング会社による評価及び改善の機会を定期的に行っている。	●入社間もない職員には過去の外部評価について周知されていない。
	10	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	100%	0%	○社内・社外研修が定期的に行われている。 ○研修受講機会を多く設けている。（月2時間以上）	
適切な支援	11	適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	100%	0%	○毎月作成され、HPやSNSを用い利用者及び利用者以外にも公開されている。	
	12	個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか。	100%	0%	○客観的に判断できるツールを使用している。	
	13	放課後等デイサービス計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	83%	17%		
	14	放課後等デイサービス計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	100%	0%	○職員が閲覧できるようになっている。	
	15	こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	100%	0%	○専用ソフトにより確認ができている。 ○客観的にアセスメントできるツールを使用している。	
	16	放課後等デイサービス計画には、放課後等デイサービスガイドラインの「放課後等デイサービスの提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	100%	0%		
	17	活動プログラムの立案をチームで行っているか。	100%	0%	○会議で立案している。	

援 の 提 供	18	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	100%	0%	○同じ活動プログラムでも内容に変化をもたせている。 ○毎月変えている。	
	19	こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成し、支援が行われているか。	100%	0%		
	20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	100%	0%	○朝礼により必ず実施している。	
	21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	100%	0%	○残業の無い職場づくりの観点から、当日できない場合は翌日実施している。	
	22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	100%	0%	○専用ソフトを利用し、全職員でチェックできる体制をとっている。	
	23	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	100%	0%		
	24	放課後等デイサービスガイドラインの「4つの基本活動」を複数組み合わせ支援を行っているか。	100%	0%		
	25	こどもが自己選択できるような支援の工夫がされている等、自己決定をする力を育てるための支援を行っているか。	100%	0%	○施設の療育方針として利用者が主体的・能動的に活動できるようサービスを提供している。	
関 係 機 関 や 保 護 者 と の 連 携	26	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	83%	17%		
	27	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	67%	33%	○障がい福祉、保育所等からの依頼に対し必要に応じ対応できる体制をとっている。	●特定の児童のみになっているため、他の児童の保護者に対しても周知し必要に応じて対応することを検討する。
	28	学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、こどもの下校時刻の確認等）、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っているか。	50%	50%	○送迎時に担当教職員から様子をうかがっている。	●送迎時以外にも学校との連絡の機会を設ける
	29	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか。	40%	60%	○必要な児童に関しては実施している。	●保護者からの要望に応じ対応しているが、こちらからのアプローチも検討する。
	30	学校を卒業し、放課後等デイサービスから障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか。	33%	67%		●対象児童無し
	31	地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要等に応じてスーパーバイズや助言や研修を受ける機会を設けているか。	50%	50%		●必要に応じ実施する機会を設ける。
	32	放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他のこどもと活動する機会があるか。	0%	100%		●今後検討したい。
	33	（自立支援）協議会等へ積極的に参加しているか。	0%	100%		●今後検討したい。
	34	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	83%	17%	○保護者専用連絡アプリを用い連絡をとり情報共有を行っている。 ○送迎時に実施している。 ○送迎時に実施できないときは個別でメールの機会を設けている。	●送迎時は時間が少なく情報提供がおろそかになることがあるため今後は時間を確保する。
	35	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム（ペアレント・トレーニング等）や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	50%	50%	○家族参加の家族会を定期的に開催している。（現在、開催できていない）	●今後検討する
	36	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	100%	0%		
	37	放課後等デイサービス提供を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	100%	0%	○児童発達支援管理責任者の思いに偏りがちな計画書は徹底的に注意し、子ども、保護者の意思を最大に尊重し立案するよう指導徹底している。	

保護者への説明等	38	「放課後等デイサービス計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から放課後等デイサービス計画の同意を得ているか。	100%	0%		
	39	家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	100%	0%		
	40	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機械を設ける等の支援をしているか。	83%	17%	○家族サロンの機会を年に数回土曜日に設けている。	●近々6か月では開催できていないため早期に再開したい。
	41	こどもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、こどもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	100%	0%	○子育てサポート、ファミリーサポート等相談支援の機会を設けておる。	
	42	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報をこどもや保護者に対して発信しているか。	100%	0%	○SNSを積極的に使用し発信している。	
	43	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	100%	0%	○鍵付きの書庫を使っている。 ○個人情報取り扱いについて職員に説明している。	
	44	障害のあるこどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	83%	17%	○視覚的支援を積極的に取り入れている。 ○必要に応じ筆談など利用者に応じたコミュニケーション手段をとっている。	
	45	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。	0%	100%		●今後検討したい。
非常時等の対応	46	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	100%	0%	○マニュアルは常備されている。	
	47	業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	50%	50%	○BCPは策定しHP上に公開している。充電機や食料等非常時の設備を整えている。	●BCPの策定は行っているが入社間もない職員には伝わっていない。 ●1回/1年の実施のため入社間もない職員には訓練の実施等おこなっていない。 ●開催の期間を年1回から短縮することを検討する。
	48	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認しているか。	100%	0%		
	49	食物アレルギーのあるこどもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	67%	33%		
	50	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	50%	50%	○リーダー職員による療育器具の使用方法や安全のポイント等実践研修の時間を設けている。	●入社間もない職員には訓練の実施等おこなっていない。
	51	こどもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	60%	40%		●今後検討したい。
	52	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	83%	17%		
	53	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	100%	0%	○外部からの研修を年に1度実施し、新入社員には入社時に研修を受講義務づけている。	
	54	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、こどもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか。	100%	0%	○外部からの研修を年に1度実施し、新入社員には入社時に研修を受講義務づけている。 ○保護者へ書面で説明を実施している。	